

2024年9月19日
株式会社読売新聞グループ本社
株式会社西武ホールディングス

「Action!伝統文化」プロジェクト第3弾
絶景とともに工芸を嗜むプレミアムイベント
2024年10月、「Rethink Kogei」を開催
～絶景とともに嗜む、未来へ紡ぐ伝統文化～

株式会社読売新聞グループ本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口寿一、以下「読売新聞グループ本社」）と株式会社西武ホールディングス（本社：東京都豊島区、代表取締役社長兼COO：西山隆一郎、以下「西武ホールディングス」）は、日本の伝統文化を振興するプロジェクト「Action!伝統文化」の第3弾イベントとして、2024年10月、「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」にて、伝統文化の認知拡大や、参加者と伝統工芸に造詣が深い現代アーティストとの接点創出を目的とした、工芸を楽しみ深く理解いただくプレミアムイベント「Rethink Kogei」を開催いたします。プレミアムトークセッションの開催に加え、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 36階では、参加アーティストの作品を期間限定で展示いたします。なお本イベントは、紀尾井町エリアの企業・団体が10月12日より開催する「紀尾井 FES 2024」において、アートを通じた紀尾井町エリアの地域活性化への貢献も企図いたします。

参加する現代アーティストは、レディー・ガガが愛用した「Heel-less Shoes」で知られる館鼻則孝氏と、館鼻氏と親交のある桑田卓郎氏の2名。館鼻氏は、日本の伝統文化や美意識を現代的に再解釈し、工芸的な手法を用いて精緻に作り上げた作品を通じ、新たな視点を提案します。一方、桑田氏は、美濃地方に伝わる伝統的な陶芸技法である「梅華皮（かいらぎ）*1」や「石爆（いしはぜ）*2」を現代風に再解釈し、独創的な陶芸作品を生み出しています。



館鼻則孝氏



桑田卓郎氏

本イベントのプレミアムトークセッションや作品展示を通じて、参加者は日本の伝統文化や工芸技法と現代の表現がどのように交わり、新たな価値を生み出すかを実感できるでしょう。伝統と現代が「出会う」唯一無二のひと時をお楽しみください。

会場となるザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町は、紀尾井町の由来になった紀州徳川家、尾張徳川家、彦根井伊家が屋敷を構えた、由緒正しい地に位置します。歴史や文化を多分に感じる風情、皇居を中心に広がる自然、そして世代も国境も越えて人々が集う国際都市東京・紀尾井町で、過去と現代の調和を感じながら、文化的・情緒的な日本固有の伝統を未来へと紡いでいきませんか。

詳細は下記の通りです。

*1 焼成が不十分のため釉薬が溶け切れず鮫肌状に縮れること

*2 陶土に含まれた小粒の長石などが器面に現われること

【「Rethink Kogei」プレミアムトークセッションの概要】

- ▼イベント名 「Rethink Kogei」プレミアムトークセッション
- ▼日時 2024年10月12日（土）14：30 開場、15：00 開始～16：30 終了（予定）
- ▼場所 ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町（東京都千代田区紀尾井町 1-2）
「All-Day Dining OASIS GARDEN」（36階）
- ▼参加アーティスト 舘鼻則孝氏、桑田卓郎氏
- ▼参加申し込み 申し込み URL：https://www.princehotels.co.jp/kioicho/plan/garden/rethink_kogei/
※定員に達し次第受付を終了いたします。
※詳細や料金は上記 Web サイトをご確認ください。

※ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 36階にて、2024年10月12日（土）～31日（木）の期間限定で、参加アーティストの作品を展示します。

【ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町について】

豊かな自然とアートを感じさせるデザイン、そして高層階から広がる眺望はまるで絵画のようで、美術館にいるような雰囲気と高揚感が味わえる最上級のプリンスホテルです。一流のホスピタリティを格付けする世界有数のトラベルガイド「フォーブス・トラベルガイド 2024」のホテル部門において、4年連続最高ランクの5つ星を獲得。機能性と快適性を追求した250の客室、伝統の味をコンテンポラリーなテイストで提供する“WASHOKU”のメインダイニング、環地中海料理を提供するオールデイダイニング、特徴の異なる2つのバー、クラブラウンジ、スパ&フィットネスなどを備えています。



<ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町 公式ホームページ> <https://www.princehotels.co.jp/kioicho/>

【「紀尾井 FES 2024」について】

都心の緑に溢れ、江戸時代から脈々と受け継がれる由緒正しい歴史背景をもつ紀尾井町エリア。明治以降、政治や経済の中心地としての顔も持ち、多くの人々が訪れ、異文化交流が盛んに行われてきました。そこから育まれた街の魅力を再発見するとともに、この街で暮らす皆さまとの交流を通じてより魅力的な街に発展させたいという思いから、この地域で活動する企業・団体が集結。この地域で暮らし、働く皆さまに“文化の潤いと、未来への笑顔”を届ける体験型イベントを1週間の期間限定で開催します。

- ▼開催期間 2024年10月12日（土）～2024年10月18日（金）
- ▼公式サイト <https://kioi-fes.jp/>
※詳細は上記 Web サイトをご確認ください。

【東京ガーデンテラス紀尾井町について】

『品と、格と、未来と。』

「東京ガーデンテラス紀尾井町」は、2つの棟「紀尾井タワー」と「紀尾井レジデンス」、そして「赤坂プリンスクラシックハウス」を有する複合市街地です。施設内には、ショップやレストラン、カフェをはじめとした各ショップや、ホテル「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」などがあります。また、緑豊かな施設内には3つの広場や、バラ園、ビオトープを有しており、館内に複数設置された数々のパブリックアートとの調和をはかっています。

所在地：東京都千代田区紀尾井町1-2他 ※建物、施設により住所が異なります。

最寄駅：東京メトロ 半蔵門線・有楽町線・南北線 『永田町駅』 9a 出口直結

東京メトロ 銀座線・丸の内線 『赤坂見附駅』 D 出口から徒歩1分

公式HP：<https://www.tgt-kioicho.jp/>



TOKYO
GARDEN
TERRACE
紀尾井町



(参考) 2024年2月に開催した「Action!伝統文化」第2弾イベント

「春爛漫プレミアム文楽～源氏ゆかりの地で浸る歴史浪漫の旅～」

2024年2月、静岡県・伊豆長岡温泉の旅館『三養荘』において、江戸時代から続く伝統芸能「人形浄瑠璃文楽」の世界を一泊二日でご堪能いただくプレミアムイベントを開催しました。平治の乱で配流されていた源頼朝が挙兵した、源氏ゆかりの地でもある伊豆で、源平合戦ゆかりの「ひらかな盛衰記」から「神崎揚屋の段」を上演しました。人間国宝で截金作家の江里佐代子氏の作品『峰光』によって彩られた舞台において、プロデューサーを務めた人形遣いの吉田勘彌氏をはじめ、語りの豊竹呂勢太夫氏ら総勢12名の太夫、三味線、人形遣いが三位一体となり、傾城・梅ヶ枝が恋人・梶原源太のために一途に尽くす物語を演じました。

上演後には人形遣いや三味線の技芸員によるワークショップを開催。翌日に実際に文楽人形を参加者の方々にもお遣いいただく体験の機会を設けるなど劇場観劇だけでは味わえない「文楽の世界」をごゆっくりとお楽しみいただきました。

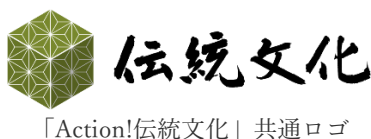


【伝統文化振興プロジェクト「Action!伝統文化」とは】

この国で長く親しまれてきた能、狂言、歌舞伎、文楽など伝統芸能の芸術性や、漆芸、陶芸などの伝統工芸の技術と品質の高さは、日本人が誇りとし、守っていききたい貴重な遺産です。世界に類を見ないものとして海外から高く評価される一方、後継者不足や原材料の確保難が大きな課題になっています。

読売新聞グループ本社は、様々な企業、団体、自治体および個人にも呼びかけて「伝統文化」を守る機運を高める運動に取り組むたいと考え、2023年に伝統文化振興プロジェクト「Action!伝統文化」をスタートしました。西武ホールディングスは、本プロジェクトの趣旨に賛同し、最初に協定を締結したパートナー企業で、共に本プロジェクトを推進しています。

本プロジェクトでは、有形無形の『伝統文化』についての知識や教養、楽しみ方を知ってもらう機会や情報を提供し、需要を創出して、伝統文化を再評価する動きにつなげることを目指します。



【西武ホールディングスが「Action!伝統文化」プロジェクトに参画した狙いについて】

西武ホールディングスは、2022年4月1日より経営企画本部内に「スポーツ・アーツ&カルチャー事業戦略部」を設立しました。2024年5月9日に公表された「西武グループ長期戦略2035・中期経営計画（2024～2026年度）」の中では、「五感を揺さぶる体験創造」を重要テーマ（マテリアリティ）に設定し、当社施設をご利用されるお客さまのさらなる滞在価値向上に寄与すべく、お客さまの生活に豊かさと彩りを添え、コロナ禍で進んだ「個人の Well-Being の実現」という高い付加価値を創出できるアーツ・カルチャー分野での展開強化を目指しています。

コロナ禍からの脱却が進み国際的な人の往来も活性化している今、人々を魅了する「自然、気候、文化、食」などが揃っている日本において、今後も「観光」は成長戦略の柱であり、全国各地に存在する日本の伝統文化を通じて、海外へその魅力を発信する重要性はますます高まっています。引き続き西武グループが国内外に有するホテルや鉄道などの豊富なハードアセット、ならびに国際会議や食催事などの運営ノウハウや創造的なソフトコンテンツと、読売新聞グループ本社が持つ伝統文化におけるネットワークや知見から生み出す独創的なソフトコンテンツとを組み合わせ、芸術や文化に触れる体験の提供に取り組んでまいります。

以上